

# 瀬戸田診療所

## 広報誌

# れもん



瀬戸田診療所は、  
かかりつけ医として  
皆様が島で安心して  
暮らし続けることができるよう  
支援します

第19号 令和6年1月



## ごあいさつ

### 瀬戸田診療所 事務長 岡田 直

みなさま、こんにちは。瀬戸田診療所事務長の岡田 直(ただし)と申します。令和5年4月から瀬戸田診療所への勤務となって以来、慣れない仕事に戸惑いながらも、多くの方からの手助けをいただき、なんとか今に至っております。

さて、瀬戸田診療所についての簡単な紹介となりますが、医師2名が常駐し、診療に当たっております。入院の病床数は19床で、個室は3室完備。医療用機器ではレントゲン、CT、内視鏡、エコーなどを備えています。また、外来診療、入院診療に加えて訪問診療にも力を入れています。市の統計によりますと、令和5年11月30日での瀬戸田町に原町、洲江町を含めた人口は8,800人。このうち、75歳以上の高齢者の人数は2,411人で、約4人に1人は高齢者です。このようなことから、多くの方が医療を必要しているものと考えられ、地域に密着した医療機関であることが、瀬戸田診療所としての役目であると考えています。

日々の診察時には大勢の患者さんが来られており、こんなにも多くの方が病気と闘っていらっしゃるのかと、常々考えさせられています。私自身、齢50を過ぎ、古来、40にして感わず50にして天命を知るとのことですが、果たしてその境地にあるかどうか。ただ、次第に体力が衰えていくのは痛感しており、自身の健康のため、食事の他、近所の用があるときはできるだけ歩くようにするなど、体を動かすことを心がけています。皆さまはいかがでしょう。スポーツ、体操、日々の散歩、手指の運動など、できる範囲で続けてはいかがでしょうか。それから、かかりつけ医を決めておいてください。いざというときの助けになります。また、年に1回、健康診断なども受診してください。健康に自信のある方は特に受けていただきたいと思います。今日では還暦の60歳が人生の折り返しだそうです。人生50年と言われたころと比べますと隔絶の間がありますが、このことは今日の医学の進歩の賜物であろうかと思えます。

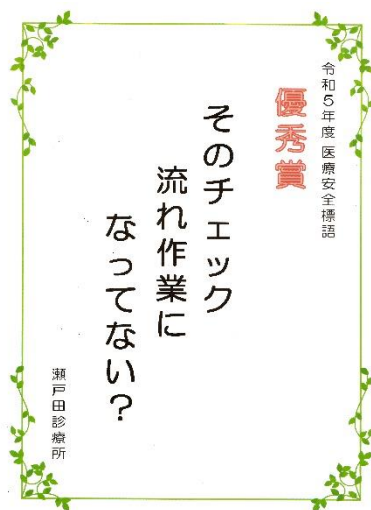
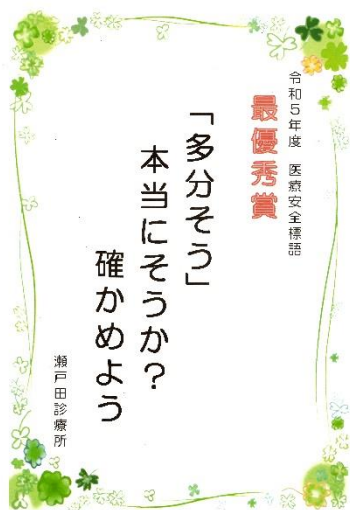
昨年は、新型コロナウイルス感染症がひと段落した一方で、国内外で様々な出来事があり、騒然とした1年でありました。今年は、皆様にとって平穏な年であることと、皆様の無病息災を心より祈念申し上げ、新年の挨拶とさせていただきます。本年も瀬戸田診療所をよろしく願います。

## 医療安全標語

スタッフ全員が知恵を絞って、医療安全意識がよりいっそう高まるような標語を、毎年考えています。今回の受賞作は以下の2作品です。今後もより一層の医療安全に努めていきたいと思えます。

名札にも注目！

医療安全標語や接遇標語の受賞者の名札には、星★のシールが貼られています。今回の最優秀受賞者は初めての受賞でしたが、星★のシールがたくさんついているスタッフもいます！



## クリスマスのイベントを行いました(病棟)

コロナ禍以降、面会制限もあり、診療所内で大規模なクリスマス会を開くことが難しい状況が続いています。それでも、ささやかながら、患者さん・ご家族・スタッフと撮った写真を入れた「クリスマスカード」のプレゼントは続けています。クリスマスの音楽をかけ、赤いサンタ帽をかぶったスタッフが、主治医と受け持ち看護師が書いたメッセージを読んで入院患者さんに渡しています。患者さんに喜んで頂けたり、普段と違った和やかな時間を過ごしたりして頂くことができました。

季節を感じていただく工夫として、その他には七夕・ハロウィンなど、季節の飾り付けを行っています。



# 院内感染予防対策の取り組みについて

患者さん・ご家族の皆様には、診療所内でのマスクの着用・入院中の面会制限など、平素より感染予防対策にご協力をいただき、ありがとうございます。

診療所では、昨年6月より、外来感染対策向上加算の算定基準を満たしております。そのための業務指針・手順書・抗生剤適正使用についての指針も新たに作成し、外来では週に1回の感染対策に関するラウンド（巡視・点検をすること）を開始しました。

これまでも感染対策は十分に行っていましたが、昨年からは、年に4回開催される市民病院や市内の他の病院との会議へも参加し、情報交換やさらなる連携強化に努めております(下の図)。

また、看護職員全員にアルコール擦式消毒剤を入れるポシェットの携行を開始しました。適切なタイミングで手や指の消毒を行い、医療者の手を介した感染の予防に努めています。

### 本院における院内感染防止対策の取組

本院では、患者様やご家族、本院の職員、来院者などに対し、感染症の危険から守るため、感染防止対策等に積極的に取り組んでおります。  
感染防止のため、患者様等におかれましては、ご不便をおかけすることもあるかと存じますが、なにとぞご理解のほどよろしくお願いいたします。

**院内感染対策**

- 1 院内感染対策に係る体制  
本院では、「院内感染管理者」を定め、「感染防止対策部門」を設置し、診療所全体で感染対策に取り組んでいます。
- 2 院内感染対策の業務内容  
本院では、全ての職員が遵守する「感染防止対策業務指針」及び「手順書」を定め、標準予防策や感染経路別予防策等に基づき、職員の手洗いや消毒、状況に応じた感染予防を実施するため、防護服等の着脱など有事の際の訓練を実施しています。  
また、1週間に1回程度、定期的に院内を巡回し、院内感染事例の把握を行うとともに、院内感染防止対策の実施状況を確認しています。
- 3 職員教育  
全職員に対し年2回院内研修を実施し、感染防止に対する知識の向上を図っています。
- 4 抗菌薬の適正使用  
抗菌薬を投与することにより患者状態の改善を図ることができても、薬剤耐性菌が発生したり抗菌薬の副作用が生じたりすることがあります。  
このため、本院では適切な抗菌薬を選択し、適切な量を、適切な期間、適切な投与ルートでの投与により抗菌薬の適正使用を実施しています。
- 5 感染対策連携  
本院では「外来感染対策向上加算」を算定しており、尾道市立市民病院との感染対策連携を取っています。

令和5年6月1日  
瀬戸田診療所

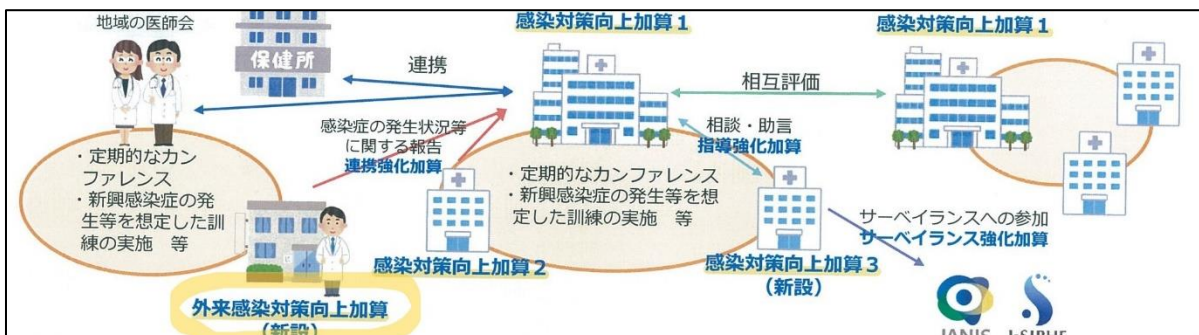
### 手指衛生の5つのタイミング

- 1 患者に触れる前
- 2 清潔・無菌操作の手前
- 3 体液に曝露された可能性のある場合
- 4 患者に触れた後
- 5 患者周辺の物品に触れた後



看護 roo、手指衛生 5つのタイミング (フリー素材)

消毒ポシェットを携行

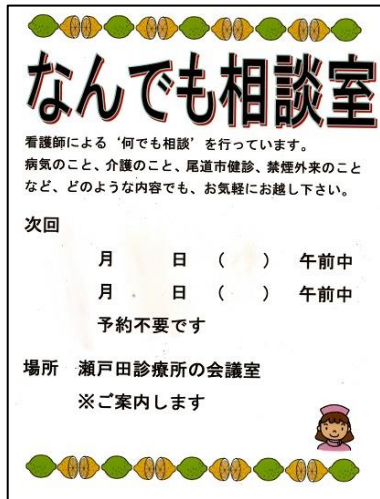




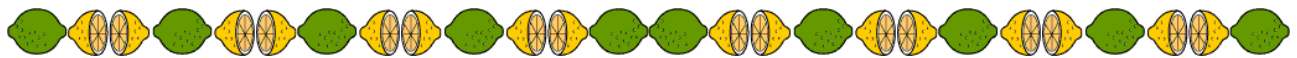
# 瀬戸田診療所 「なんでも相談室」

診療所では、月に2回（曜日は不定期）、看護師によるなんでも相談室を開いています。病気のこと、介護のこと、健診のことなど、なんでもかまいません。まずは、お気軽に相談にお越し下さい。

開催日は、外来トイレ横の掲示板に書いています。診察に来られた際に、医師や看護師にお声かけいただいてもかまいません。



開催日のポスターが  
外来に貼ってあります！



## お知らせ ホームページから「れもん」が読めます！

広報誌「れもん」は、前回の第18号から、診療所のホームページから読めるようになりました！「瀬戸田診療所」で診療所のホームページを検索、「病院の紹介」の欄の一番下にある、青色の『広報誌れもん』のボタンをクリック（押す）。

その後、赤字で表示されている「第18号」など、読みたい号をクリックすると、表示されます。ホームページ版のれもんも、どうぞよろしくお願ひいたします。



## 瀬戸田診療所は、訪問・外来・病棟の3つの部門から成り立っています

		月	火	水	木	金
午前	1診	大西	大西	エコー 内視鏡	大西	大西
	2診	小林	小林		小林	小林
午後	救急 診療	小林	大西	15時～ 禁煙外来	小林	大西
	訪問 診療	大西	小林		大西・小林	大西

- 外来** 平日 午前9時～12時  
(受付は8時30分～11時まで)
- 救急診療** 平日 午前8時30分～午後5時15分  
(受付は午後4時30分まで)
- 当番日** 午前9時～午後5時まで受付
- 尾道市健診** 水曜日午前中
- 糖尿病フットケア外来** 予約制
- なんでも相談** 月2回不定期、院内に掲示